

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1年次生 野中理莉子

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受け、2023年3月6日から3月16日までの期間、語学留学としてオーストラリアの TAFE NSW North-Coast Institute Kingscliff Campus で実践的な英語やオーストラリアの文化、オーストラリアの薬学を学ぶとともに、ホームステイにて様々な経験をしましたのでここに報告いたします。

2. 学校生活について

・ English class

この授業ではホームステイ先でどのような英語を話したらよいのか、オーストラリアの海ではどのように過ごしたらよいのか、そしてオーストラリアの文化などについて学びました。宿題はホストファミリーに質問して考えてくる内容が多かったもので、学校の宿題を通してホストファミリーとの仲を深めることができました。また、この授業では日本での大学生活と違って一人一人と話したり、グループトークをたくさん行ったりしたので、自主性や積極性を高めることができました。

・ Pharmacy class

この授業ではオーストラリアの医療システムや薬、薬局などについて学びました。私はまだ薬学を学び始めて1年ほどなので詳しくは分からないところもありましたが、日本とオーストラリアでの違いを学ぶことができ非常に良い機会となりました。また、この授業で学んだことを今後の日本での授業で自身の考え方に活かしていきたいと思いました。

3. ホームステイ先での生活について

私を受け入れてくれたホストファミリーは、Jane と Chris という夫婦でした。Jane は学校がある日も毎日ランチを作ってくれたり、一緒に英語を学んでいこうという優しい言葉をかけてくれたりするととても素敵なホストマザーでした。ホストファザーの Chris は高校の先生の傍らバンドをしており、ギターやウクレレ、ドラムを教えてくださいました。音楽が大好きな私にとって最高の時間となりました。週末には Gold Coast や Byron Bay へ連れて行ってくれ、ショッピングや海を一緒に楽しむことが

できました。そしてホストファミリーとの会話は、最初の頃は聞き取るのが難しくし
っかりとコミュニケーションをとることができるか不安でしたが、日が経つにつれ
てよく聞き取れるようになりました。自分の考えもきちんと伝えられるようになった
ので、中身の濃い会話もすることができて楽しかったです。

4. 最後に

今回の留学を通してたくさんの貴重な経験をさせて頂き、留学前には想像もつかな
いほどの充実した日々を送ることができました。私は今回が初めてのホームステイ
で不安も大きかったのですが、今となってはまた行きたいと思えるほど楽しく素敵
な生活でした。また、分からない時はそのままにせず聞き返すことが大切で、自分
の意見もしっかりと伝えることがお互いにとって良いコミュニケーションであると学
ぶことができました。そして、自分がどういう姿勢で臨むか、どういう行動をとるか
によってどれだけ成長できるかは大きく変わってくるのだとも思いました。これら
の学びを活かして、今後の生活を送っていきたいです。



写真1 TAFE



写真2 最後に英語の先生と



写真3 Griffith University



写真4 Byron Bay



写真5 ホストファザーにギターを
教えてもらっている様子

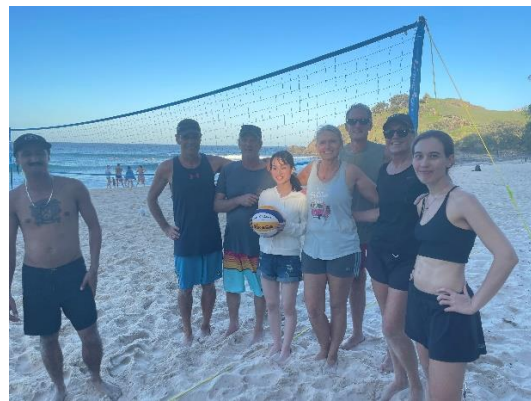


写真6 ビーチバレーをしたとき